



花火とスノーキャンドルが織りなす世界
かづのの灯

1月16日・17日の2日間、道の駅かづのあんとらあで、「かづの灯」と題したイベントが行われ、あんとらあの中庭には、およそ1300個ものスノーキャンドルが設置されました。このイベントは両日の17時から行われ、来場者は、ろうそくを使い、次々とスノーキャンドルに火を灯していました。また、16日には、17時30分から大曲の花火師による、花火披露が行われました。

冬の澄んだ空気の中で打ち上げられた花火は、鮮明に夜空を照らし、来場者はその美しさに見入っていました。

1月21日に、十和田中学校で創立50周年の記念行事が行われました。

十和田中学校は、昭和45年に毛馬内中学校・大湯中学校・錦木中学校の3校が統合し、開校しました。その後、50年にわたり、勉学のみならず、スポーツの分野でも大きな成績を残してきました。

記念行事では、はじめに記念式典が行われ、生徒会長の竹澤大矢さんは「先輩や支えてくれた方々の想いを受け継ぎ、校訓『開拓精神』を道するべに未来へ進んでいき

ます」と十和田中学校のさらなる発展を誓いました。

その後、「先輩に学ぶ・進む未来へ」をテーマにパネルディスカッションが行われ、各方面で活躍している十和田中学校の卒業生6人が対談しました。

陸上競技で活躍している松宮祐行さんは、「ふるさと鹿角を誇りに思ってください。また、いろいろなことに挑戦してください。それが財産になります」と在校生にメッセージを送りました。

式典の様子は、十和田中

十和田中学校創立50周年記念行事

1月21日に、十和田中学校で創立50周年の記念行事が行われました。

十和田中学校は、昭和45年に毛馬内中学校・大湯中学校・錦木中学校の3校が統合し、開校しました。その後、50年にわたり、勉学のみならず、スポーツの分野でも大きな成績を残してきました。

記念行事では、はじめに記念式典が行われ、生徒会長の竹澤大矢さんは「先輩や支えてくれた方々の想いを受け継ぎ、校訓『開拓精神』を道するべに未来へ進んでいき



人権擁護委員
【八幡平】安倍憲壽さん、佐々木臣さん
【尾去沢】工藤トモ子さん
【花輪】青山武夫さん、瀬川悦子さん
【十和田】本下フサさん、沢田正さん
【小鎌生子さん】

人権擁護委員に沢田正さんが再任され、法務大臣からの委嘱状が伝達されました。

人権擁護委員は、不安や悩みのある方の相談に応じたり、人権を守るために必要な手続きの助言を行っています。本市では、9人の方が人権擁護委員に委嘱されています。

毎月第2火曜日に、行政相談委員と人権擁護委員による総合相談所を開設しています。

人権擁護委員に委嘱状を伝達



まちの話題

大日堂舞楽は、大日靈貴神社の再建の際に、都から訪れた楽人により伝えられたとされ、1300年以上の歴史があります。

大里・小豆沢・谷内・長嶺の4地区の能衆により、長年受け継がれてきた伝統の舞が厳かに奉納されました。

今年は新型コロナウイルス感染症の対策として、時短や観客の制限などを行った中で実施されました。



無火災・無災害を願う出初め式



1月4日に、鹿角市消防出初め式が文化の杜交流館コモツセおよび花輪商店街で開催されました。

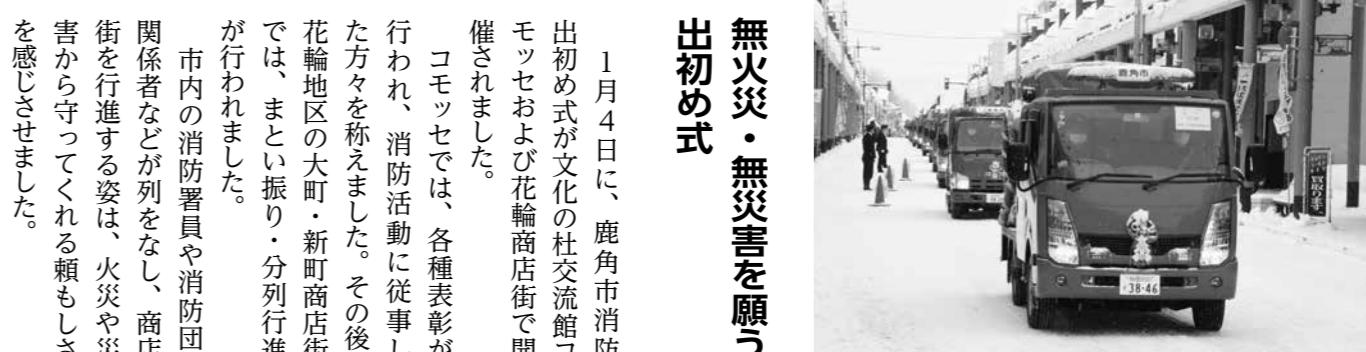
コモツセでは、各種表彰が行われ、消防活動に従事した方々を称えました。その後、花輪地区の大町・新町商店街では、まとい振り・分行進が行われます。花輪商店街を行進する姿は、火災や災害から守ってくれる頼もしさを感じさせました。

本協定は、災害が起きた際に、支援を瞬時に使うために市がさまざまな分野の事業者と結んでいるもので、今回の締結で34件目となります。

道の駅を一時避難所として開設するほか、トイレや食料・飲料の提供、帰宅困難者への情報提供などを行っていくとされています。

道の駅との災害時支援協定締結

1月13日に災害時における



株式会社かづの観光物産公社の岩船社長は「災害が起きた際には、迅速に対応できるよう準備する」と話しました。

株式会社かづの観光物産公社の岩船社長は「災害が起きた際には、迅速に対応できるよう準備する」と話しました。

市内の消防署員や消防団、関係者などが列をなし、商店街を行進する姿は、火災や災害から守ってくれる頼もしさを感じさせました。

市内の消防署員や消防団、関係者などが列をなし、商店街を行進する姿は、火災や災害から守ってくれる頼もしさを感じさせました。

